

産経新聞

平成12年(2000)日刊20676号

5|12[金]



産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞東京本社2000
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2
☎ 東京(03)3231-7111(大代表)

産経抄

五日に放映されたフジテレビ系の番組『小さな留学生』への反響が、いまなお静まらない。地味な？ドキュメンタリーにもかかわらず視聴率が20%を超えたことも、今後のテレビ制作の方向を示唆していた。▼それを取り上げた小欄へ、見逃してしまったけどもう再放映しないのか、再放映するとすればいつか、という問い合わせがたくさん届いた。フジテレビの回答では、夏休みに再放映する。記録されている膨大なフィルムも改めて再編集するそうだ。▼前にも書いたが、この番組は全くの素人だった中国の女子留学生・張麗玲さん(三三)が、四年間にわたって中国留学生の苦闘の日々を追った。『小さな留学生』は、日本語がひとつもわからない少女・張素ちゃん(九三)が日本の小学校でがんばる姿を取材したものだった。▼番組は北京でもテレビにのり、それを見た人びとは「日本人ってこんなに尊敬すべき民族だったのか」と驚いたというのである。対中姿勢のだからしい日本外務省に代わって、日本人への誤ったイメージを是正した。この番組の果たした役割は限りなく大きい。▼折から日中外相会談で対中ODA(A(政府開発援助)の見直し)が決まった。これまで二十間に日本の対中援助は二兆四千億円に及んでいるが、中国からはさっぱり感謝の声も聞こえてこない。その一方では「日本人は野蛮で、残酷だ」という教育が進められてきた。▼対中ODAはこうしたテレビ番組の制作にこそ投入されるべきだと思うのだが、たぶんテレビの人たちは拒否するだろう。ヒモつきでない自主制作だから感動を与えた。ズブの素人が寝食を惜しんで撮影した映像だからこそ人の心を打ったのだ、と。

2000.5.12